

## 福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	河川水におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの分析法の検討
発表学会名	第36回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会
発表者名	大野木 卓（環境部）
開催場所	書面開催
発表日時	令和4年1月28日（金）
発表内容	<p>ポリオキシエチレンアルキルエーテル（以下、「AE」という）は界面活性剤であり、工業用および家庭用の洗剤や乳化剤、分散剤等として用いられ、その発生源は様々である。AEは環境省の化学物質の環境リスク初期評価において、水生生物へのリスクが認められ、詳細な評価を行う候補物質とされているが、福井県内の河川水におけるAEの実態はまだ把握されていない。</p> <p>そこで、環境調査の実施に向けて、河川水におけるAEおよび発生源解析に用いる分子マーカー（クロタミトンおよびカルバマゼピン）のLC-MS/MSによる同時分析法の検討を行った。</p> <p>本検討により、装置定量下限値(IDL)およびAEのサロゲート回収率はおおむね良好な結果が得られた。ただし、AEの一部の同族体で回収率が70%を下回っていたため、環境調査の実施に向けて今後さらなる分析精度向上を図る。</p>